

## ツバメ (学名: *Hirundo rustica*)

[スズメ科 ツバメ属]



▲電線をすり抜け、住宅地を飛ぶツバメ



▲エアコンの配管に営巣したツバメ

ツバメは、東南アジアで冬を過ごし、春になると小さな体ひとつで遠く日本まで旅をします。南の国から春に渡ってくる夏鳥の中では渡来時期が比較的早く、いち早く春を連れてきてくれます。年によって違いますが、九州南部には2月下旬に少数が現れ、大方の地域では3月中にやってきます。東北地方には、3月下旬から4月にかけて飛来します。

只見町でツバメが見られ始めるのは、いつ頃でしょうか。ブナセンタースタッフの記録では、昨年は3月28日、2014年は4月4日が初認日でした。近年、世界的に気温が上昇し、サクラの開花が早まっていると言われていています。同じようにツバメの初認日には、変化はあるのでしょうか。『只見町公民館報』の1959年12月号に個人的な観察として、ツバメの初認日記録が掲載されています。それによると、1950年(昭和25年)は3月30日、51年は3月25日、52年は3月22日、53年は4月2日となっています。個人的なこれらの記録だけでは正確なことは言えませんが、全国的な観測でもツバメの初認日に今のところ変化は見られていません。65年前も現在も、おおむね3月下旬から4月上旬にかけて、町の人々はツバメの渡来に春を感じたことがわかります。今年はいつ、ツバメがやってくるでしょうか。鳥たちの渡来が楽しみな季節です。

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください

### 企画展示

「春植物の生活史 つかの間の季節を生きる色とりどりの花たち」

期 間：3月12日(土)～6月13日(月)

### ブナセンター講座

「葉と花の戦略と絶滅危惧種の保全」 講師 鷲谷 いづみ 氏

日 時：3月13日(日)午後1時30分～午後3時

場 所：只見町ブナセンター セミナー室

\*ブナセンター講座の聴講には入館料が必要です。